

境内社 佐瑠女神社さるめじんじや

御祭神 天宇受売命（あめのうずめのみこと）

天照大御神が天岩窟にこもられて世の中が乱れた時、天宇受売命がその前で神楽を舞われ、天照大御神が再び現れるきっかけを作り、平和な世に導いたと伝えられます。このことから芸能の祖神として崇敬されており、俳優、音楽、芸術、スポーツなど様々な方面において成功上達へと導いて下さる神様です。

また天孫降臨に際して、待ち迎えた猿田彦大神と最初に対面し、天孫瓊瓊杵尊にじぎのみことと猿田彦大神との間を取り持ったことから良縁、縁結びの神様としても篤く崇敬され人、仕事、物など様々な縁を良い形で結んで下さいます。その後、猿田彦大神と共に伊勢の五十鈴の川上来られ「媛女君さるめのきみ」の称号を受けられました。

猿田彦神社社務所

〒516-0026

三重県伊勢市宇治浦田二丁目一番一〇号
電話 (〇五九六) 二二一二五五四
FAX (〇五九六) 二八一九九五五
URL <http://www.sarutahikojinja.or.jp/>
Eメール info@sarutahikojinja.or.jp



みちひらきの大神



猿田彦神社

「御由緒略記」

御祭神

主神 猿田彦大神 (さるたひこおかみ)
相殿 大田命 (おおたのみこと)

御由緒

猿田彦大神は天孫降臨の時、天と地の間にある難所あめのやちまた天八衢に待ち迎えて啓行をされみちひらき
天照大御神の孫(天孫)瓊瓊杵尊を高千穂へと導かれました。その後、本拠の地である伊勢の五十鈴の川上に戻られ、ここを中心に広く国土を開拓された地主神です。御神徳の高い大神は佐田大神、千勝大神、白鬚大神、道祖神、賽の神、庚申さま等として津々浦々にお祀りされています。

大田命は猿田彦大神の御裔の神。垂仁天皇の御代に皇女の倭姫命やまとひめのみかみが神宮鎮祭の地を求め諸国を巡られました。その時に大田命がお迎えして、大神以来守護して来た五十鈴の川上の靈域を献上し、伊勢の神宮が創建されました。

大神と大田命の子孫は宇治土公うじのつちぎみと云い伊勢神宮において玉串大内人という特殊な職承に任ぜられて代々奉仕して来ました。当社は大神の本拠地である伊勢の地で大神の末孫うじとこ宇治土公家が累代奉祀する、最も代表的な神社であり本社もとやしろであります。

御神徳

みちひらき・・・猿田彦大神の御神徳のひとつで人生の道、すなわち皆様が進まれるお仕事や学業等において最も善い方向へ道を開いて下さるお力です。
建築地鎮・・・国土を広く開拓したことから土地神さまとして篤く崇敬され建築安全の神として地鎮祭の際に御神符と清砂を受けます。

その他 方位方災除、交通安全、開運、開業、移転、商売繁盛、事業繁栄、五穀豊穰大漁満足の御神徳を頂くため全国から参拝がたえません。

社殿

ご本殿は二重破風の妻入造りである「さだひこ造り」。
猿田彦大神の方除(八方除)の御神徳にちなみ、屋根の上の鯉木や鳥居を始め柱や欄干など八角形になっています。

◆授与品について

猿田彦大神御神符（お札）

猿田彦大神の御神徳を頂くために住居、会社、店舗などにおまつりします。
一年間、神棚もしくは柱や壁に飾って下さい。

御敷地の砂（清砂）

土地、建物を神社の境内の如く清める御砂。

一包を四分分し、北東から右回りで四隅へ撒きます。または入口やベランダの左右へ撒いて下さい。

五十鈴いすず

静かな鈴の音により清める土鈴。神棚にお参りの際に鳴らして清めたり
お出かけ前や帰宅時に鳴らしてお祓いして下さい。

また、地鎮祭にあたっては鎮物として土中に埋めて下さい。

御富岐玉みほぎだま

方除の結果として掛ける四色の玉。一部屋定めて頂き、その部屋の天井の四隅から
吊り下げます。黄を北西 青を北東 赤を南東 白を南西へ掛けます。

安産祈願布

腹帯に挟込むか縫付ける。または母子手帳に挟みお持ち頂く安産のしるしです。

病平串

病氣平癒の御祈祷の方にお渡しする祓い串。御幣は袋から出し病人に向かい左右左
と祓い先端の紙垂に息を吹きかけます。清い火で焼くか川に流すか神社へ納めます。

切麻

車を持参せずに交通安全御祈祷を受けた方にお渡しするお祓いの道具。
包みの中の紙を三分分し、車に向かい左右左と振り掛けて下さい。

○授与品の郵送について

御神符、御砂をはじめ、御守など各種授与品の郵送をご希望の方は

お電話、ファックス、お手紙、電子メールにてお申込み下さい。

◆御祈祷

みちひらき	建築安全	方位除け	交通安全
家内安全	商売繁盛	身体健全	病氣平癒
厄除け	合格祈願	子宝安産	初宮詣百日参り
七五三	神恩感謝	心願成就	

など

諸祈願御祈祷致します

宇治土公家相伝の永代祈祷をはじめ 一代 十年 五年の年限御祈祷もございます

○遠方の方の御祈祷も承ります

①郵便番号 ②ご住所 ③ご芳名 ④ご連絡先 ⑤お願い事 をお知らせ下さい

◆神前結婚式

みちひらきの御神徳を頂き永遠の契りを御神前にお誓いします。

受付組数限定で御本殿挙式を斎行致します。

また挙式専用の神楽斎場でも結婚式を執り行うことができます。

◆奉賛講

猿田彦大神の御神徳をより深く受けて頂き、より身近にお参り頂くための団体です。

参拝の作法や神社についての基礎知識、禊に興味をお持ちの方は猿田彦神社奉賛講

事務局までお尋ね下さい。

◆主な恒例祭典

・例祭 春季 (四月四日・五日) 秋季 (十一月四日・五日)

年に二度の例大祭

四日の夜に夕御饗祭、五日の朝に朝御饗祭を行い、午後二時より奉幣祭が斎行される。

・御田祭 (五月五日 午後一時)

五穀豊穰・豊漁満足・産業繁栄・家内安全の大祭。

御神田にて桃山装束に身を包んだ植方が苗を植え、団扇角力や豊年踊りが奉納される。

・佐瑠女神社例祭 宵祭 (八月十七日 午後五時半) 例祭 (十八日 午前十一時)

良縁・芸能の祖神である佐瑠女神社の年に一度の大祭。

宵祭には全国から奉納された提灯に明かりが灯り境内を彩ります。

・七五三祭 (十一月十五日 午前九時)

七五三を祝い、お子様の無事な成長を祈るお祭りです。

・清砂頒布始祭 (十二月五日 午前十時)

当社の代表的な授与品である「御敷地の砂」。

新年に向け、新たに御砂の頒布を始めるお祭りです。

・大祓 水無月大祓 (六月三十日 午後四時)

大晦日大祓 (十二月三十一日 午後四時)

日常生活で知らず知らずに身に積もったツミやケガレをお祓いするお祭り。

・月次祭 (毎月五日 午前十時) ・佐瑠女神社月次祭 (毎月二十一日 午前十時)

※祭典への参列をご希望の方は神社へお尋ね下さい